

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		狂犬病予防事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	050801000241
総合計画の施策名		0508	生活環境の保全			単独/補助	単独	所属課	030301 生活環境課
政策体系	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名	08	生活環境の保全					グループ	環境公害対策G
	手段名	01	①公害防止・生活環境の保全					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
法令根拠	狂犬病予防法、桜川市狂犬病予防法施行規則					単年度繰返し (昭和25 年度～)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 狂犬病予防集合注射の実施。犬の登録 (生涯1回) 予防注射 (年1回) 令和6年度から畜犬登録事業、第9支部狂犬病予防対策協議会参画事業を統合する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 集合注射日程調整 (会場、第9支部獣医師会)、登録犬通知、集合注射の実施、犬の登録、注射済、死亡届及び変更届の管理事務
手段	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
狂犬病予防集合注射の通知、実施。	集合注射の実施案内 (チラシ)	枚	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00
	予防注射接種の通知件数	枚	3,409.00	2,082.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市に登録された犬	登録件数	件	2,229.00	2,219.00	2,200.00	2,150.00	2,100.00
	県接種率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	全国接種率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
狂犬病予防注射接種率を向上及び狂犬病発生防止する。	狂犬病予防注射接種頭数	頭	1,256.00	1,168.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	接種率	%	56.34	52.63	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	31	37	37	
	事業費計 (A)	千円	31	37	37		
	正規職員従事人数	人	1.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	37		10 需用費	37	
		合計	37		合計	37

(4) 当該年度の実施内容 ※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容 集合注射日程調整 (会場、第9支部獣医師会)、登録犬通知、集合注射の実施、犬の登録、注射済、死亡届及び変更届の管理事務の実施。	08年度の事業内容 集合注射日程調整 (会場、第9支部獣医師会)、登録犬通知、集合注射の実施、犬の登録、注射済、死亡届及び変更届の管理事務の実施。	09年度の事業内容 集合注射日程調整 (会場、第9支部獣医師会)、登録犬通知、集合注射の実施、犬の登録、注射済、死亡届及び変更届の管理事務の実施。
----------------------------------	--	--	--

事務事業名	狂犬病予防事業	事務事業No.	50801000241	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和25年の狂犬病予防法の制定により予防注射が義務付けられ、狂犬病は1957年以来日本での発症がないことから危機感が低く、年々は予防注射の接種率が低下している。近年は海外で犬に咬まれ帰国後に狂犬病発症する例が増えている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 狂犬病予防法に基づき予防注射が義務付けられているところではあるが、飼い主の方から「日本には狂犬病はないので混合ワクチンなどを受けていれば狂犬病の注射は打たなくてもいいのではないか」や「室内犬で家から出ないので狂犬病の注射は受けていない」などの声が聞かれる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 法令に基づいて実施しており、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 法令の規定により狂犬病予防注射接種後、市が注射済票を交付するため公共関与は妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 未登録犬、未接種犬を減らすための継続的な啓発活動や接種率向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法令による事業ため廃止できない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 畜犬登録事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 畜犬登録事業は根拠法令が同じのため分ける必要がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の犬鑑札・注射済票の費用であるため削減はできない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 犬を飼育する方すべて登録と予防注射の義務があるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	令和6年度からは、狂犬病予防集注射の追加接種を実施しないこととしたため、前年度と比較して接種頭数は79頭減少した。 今後は、市内での接種率6割を目標とし、市民への周知を行うとともに、犬の登録台帳の整理を進めていく。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
茨城県が目標としている狂犬病予防注射の接種率70%の達成に向けては、犬の登録台帳の整備(明らかに死亡している犬の削除)が必要と考えられる。 その解決策として、該当する登録犬をピックアップし、1件ずつ電話連絡を行っていく対応が求められる。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>